



# 市 整 会

# 会 報

大阪市立大学整形外科開業医会

No.62 2019年8月1日発行

医療法人 天野クリニック  
〒534-0002 大阪市都島区大東町2-5-24  
TEL06-6927-7500 FAX06-6922-9974

## 巻頭言

市整会副会長 西澤 徹 (昭和62年入局)

### 令和を迎えて思う

令和の御代が始まりました。皆さま誠におめでとうございます。

国民一人一人が「令和」の担い手としての覚悟が問われます。

「天は自ら助くる者を助く」

中学時代に英文解釈で出会って以来、私の座右の銘としております。少子化が進む日本に、今までの発展は望めません。であれば、皆が歯を喰いしばって生き抜くしかないではないですか。

米中による世界の覇権をかけた戦い、欧州の崩壊、北朝鮮・イランの核開発による中東の不安定性、アジアにおける軍事・経済バランスの不均衡。世界は今やカオスと言っていいでしょう。そんなタイトロープの上で日本は消費税増税をするのでしょうか。それが国益ですか？悪夢の再現を危惧します。

「令和元年が日本の分水嶺」でなければと心から憂います。その国難を招くのも救うのも国民です。

「滅私奉公」

中学時代の塾の先輩が常に言っておられた言葉です。彼はキャリア公務員となり、その後代議士となって、夭折されました。今もこの言葉を眼にすると、震える思いがします。

医師にはそういう面が要求されるでしょう。学会や同門会、地域社会に携わることもその一つです。

先日、心から尊敬する頼功先生が逝去されました。一緒に働いたことはないけれど、なぜか研修医の頃から可愛がっていただき、開業する際もお世話のひと言で済ませられないくらいお世話になりました。先生は市整会会長時代に、勤務医会との融和、市整会員内の団結に非常に心を砕かれました。

「お前はOCOIAには行かず、市整会でがんばれ」と言われていたのに。もっと市整会の運営についてご意見を拝聴したかったです。あの笑顔をもう見られないと思うと残念でなりません。市整会のさらなる発展が先生へのご恩返しと感じています。

この5年間に、小学生の頃から励まし高めあった竹馬の友（医師）が相次いで他界しました。不思議と「俺は長生きしよう」と思わないものなんです。

「次は俺かあ、もう少し待っててな」とだけ。そして「二人に恥ずかしくない生き方しよう」と。若いころから「人間死ぬ時が勝負」と思ってきました。

「ええ人生過ごしはったんとちがう？ちょっと変わってたけど」と言われる人生を送りたい。

「ただ生きるな、善く生きよ」

ソクラテスの言葉がそうです。昨年亡くなった勝谷誠彦君の座右の銘でもありました。

祖国のため、そして家族のため一所懸命生きたいと思えます。

# 令和元年度 市整会 総会

日時：令和元年 05.18（土）16時～

場所：ヴィアーレ大阪 3F 『レガート』

出席者（計 31名）（敬称略）

天野祐一、馬野隆信、前野岳敏、吉田昌司、吉田研二郎、鳴嶋真人、西上茂樹、安田浩成、林 卓夫、  
斧出安弘、秋野一男、森沢康二、寺川文彦、柳井尚浩、金井秀彰、長濱信一、元田忠伸、宮内 晃、  
古瀬洋一、上野憲司、鄭 明和、大川得太郎、伊藤智康、岩城啓好、木下裕介、越宗 勝、南部誠治、  
小竹志郎、妻鹿良平、吉田博一、森川献志漢

委任状：70通 + 36名（名誉理事）

## 議題

### 報告事項

- 1、総会の成立について（森川）
- 2、会員の動向について（森川）
- 3、平成30年度前期事業報告（森川）
- 4、平成30年度会計報告（伊藤）
- 5、70周年会計収支報告（宮内）
- 6、その他の報告事項

### 協議事項

- 1、令和元年度事業計画（森川）
- 2、令和元年度会計予算案（伊藤）
- 3、その他の協議事項

### 報告事項

- 1、総会の成立について（森川）  
（出席者31名、委任状106枚、会員190名…総会成立）

- 2、会員の動向について（森川）

死亡退会者の御報告（5名）

合志 至誠先生（昭和37年入局）、H30.7.12にご逝去  
小寺 力先生（昭和48年入局）、H29年末にご逝去  
反田 英之先生（昭和33年入局）、H31.1.17にご逝去  
川西康之亮先生（昭和54年入局）、H31.2.17にご逝去  
吉川 秀明先生（昭和39年入局）、H31.3.16にご逝去

閉院の御報告（1名）

佐竹兼爾先生（昭和44年入局）

退会（2名）

猪瀬正美先生（昭和48年入局）

矢頃恒三先生（昭和24年入局）

住所変更（3名）

玉田善雄先生（昭和57年入局）

〒086-1024 北海道標津郡中標津町東24条南5丁目1

勤務先：町立中標津病院（市立根室病院より変更）

大草良夫先生（昭和54年入局）自宅住所変更

〒530-0005 大阪市北区中之島6-1-38-5306 TEL 06-6485-8827

中塚洋直先生（平成8年入局）勤務地住所変更

〒535-0002 大阪市旭区大宮2丁目17-14アイリス千林大宮2階

住所間違い（2名）

喜多義将先生（昭和58年入局）

〒533-0014 大阪市東淀川区豊新5-18-2 メゾングレース1F（← 5-12-2 メゾングレース1F）

徳原善雄先生（平成12年入局）

〒538-0052 大阪市東鶴見区横堤3-6-40（← 鶴見区横堤2-22-13）

名誉会員（3名）

箕輪恵次先生（入局：昭和53年；誕生日：S23.4.21）

宋景泰先生（入局：昭和54年；誕生日：S23.3.26）

森澤康二先生（入局：昭和57年；誕生日：S21.6.04）

新入会（2名）

吉田博一先生（平成24年入局）

整形外科吉田クリニック

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-20-16 TEL：06-6627-0167

南部誠治先生（平成9年入局）

整形外科リハビリテーション科うえほんまち駅前クリニック

〒543-0031 大阪市天王寺区石ヶ辻町18-21上六ときビル2F TEL：06-6779-0077、FAX：06-6779-0066

3、平成30年度前期事業報告（森川）

H30.04.07（土）諮問委員会

H30.04.12（木）～14日（土）第47回日本脊椎脊髄病学会学術集会（大学行事）

H30.04.21（土）29年度後期理事会・市整会フォーラム（講演会のみ共催：久光製薬）

理事会17時～、フォーラム18時～ ヴィアール大阪

出席者 20名、委任状 25通（理事総数61名）

演題「関節外科の進歩～患者満足度向上への取り組み～」座長：明石健一

演者 医療法人啓信会 中之島いわき病院 院長 岩城啓好先生

H30.05.12（土）市整会 総会 ヴィアール大阪 講演会のみ共催：科研製薬

（出席者39名、委任状112通、会員196名…総会成立）

学術講演 1 「末梢神経損傷に対する人工神経を用いた治療 基礎と臨床」

座長：小竹志郎

演者 大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学 大学院生 横井卓哉先生

学術講演 2 「最近の大阪における社会保険審査について」座長：増田博

演者 医療法人岩本整形外科 院長 岩本善介先生

H30.06.03 (日) スケルトンゴルフコンペ 天野山CC

参加：市整会24名、勤務医15名、総勢39名 (10組)

H30.06.16 (土) 学術講演会 共催：旭化成 南海スイスホテル 16時～ 総合司会：明石健一

(参加者 市整会51名 同門22名 非会員63名 合計136名)

学術講演 1 「整形外科医にもきいてほしい 高脂血症の話」座長：増田博

演者 国立循環器病研究センター研究所 病態代謝部長 斯波真理子先生

学術講演 2 「陥入爪、巻き爪の原因と最新の対処法」座長：小竹志郎

演者 医療法人社団 瑞雲会 高田馬場病院 整形外科 町田英一先生

学術講演 3 「骨粗鬆症性脊椎疾患：注意すべきポイントと対策」座長：大川得太郎

演者 秋田大学大学院 医学系研究科医学専攻 機能展開医学系

整形外科学講座 教授 宮腰尚久先生

H30.09.08 (土) 市整会学術文化講演会 共催：日本臓器製薬 総合司会：小竹志郎

16時～ 天王寺都ホテル

参加：市整会32名 家族3名 同門会6名 非会員(演者含)6名 合計47名

学術講演：「がんとロコモティブシンドローム(がんロコモ)のトータルケア

～「入院から在宅へ」のいま、求められる整形外科医の役割とは?～」座長：西澤徹

演者 大阪国際がんセンター 整形外科 骨軟部腫瘍科副部長 大島和也先生

文化講演：「古地図で愉しむまち歩き」座長：天野祐一

演者 株式会社 竹中工務店 大阪本店 技術担当顧問

大阪くらしの今昔館ミュージアムボランティア町家衆 酒井祐一先生

H30.09.28 (金) 諮問委員会

H30.10.13 (土) 「『これからの整形外科のかたち』を考える会」(健保介護診療担当勉強会)

共催：久光製薬 大阪第一ホテル 午後3時45分から 総合司会：馬野隆信

参加者：32名(演者を含む)

演題 1 「脊椎画像診断の撮影範囲内で見つかる泌尿器科疾患～特に前立腺癌について～」座長：増田博

演者 杉本泌尿器科 院長 杉本俊門先生

演題 2 「100年生きたらどうします?我々が最期まで役立つために」座長：増田博

演者 こたけ整形外科 院長 小竹志郎先生

演題 3 「共創の医業承継～新税制から承継の現状～」座長：馬野隆信

演者 河村会計事務所 河村好夫先生

H30.10.20 (土) 平成30年度前期理事会・市整会フォーラム 講演会のみ共催：帝人ファーマ

理事会18時～、フォーラム19時～ 情報交換会20時～21時30分 ANAクラウン

出席者 16名、委任状 34通(理事総数60名)

演題「大腿骨頭壊死症：最近の話題」

一骨粗鬆症を背景とした脆弱性骨折・大腿骨頭軟骨下骨折との鑑別

座長：小竹志郎

演者 和泉市立総合医療センター 整形外科 部長 溝川滋一先生

H30.10.28（日）市大整形外科70周年記念式典

H30.11.18（日）家族会（京都方面）

参加者39名

豊臣秀吉の側室の淀殿とお江が建てた「養源院」（浅井長政の菩提寺）と三十三間堂観光。

織田信長の甥である織田頼長ゆかりの「左阿彌」での京懐石料理。

H30.12.02（日）市整会ゴルフコンペ 泉が丘CC

6組22名

H30.12.21（金）諮問委員会

[こんび] 20時～

H31.01.26（土）市整会新年会 場所：ANAクラウンプラザホテル 学術講演共催：エーザイ

講演会参加者21名、新年会参加者38名 総合司会：森川献志漢

学術講演「転移性脊椎腫瘍の診断と治療」座長：増田博

演者 大阪市立大学医学部附属病院 整形外科 鈴木亨暢先生

アトラクション：初田悦子さん

H31.03.09（土）市整会学術講演会 共催：小野薬品

場所：ホテルモントレグラスミア大阪 21階「スノーベリー」 総合司会：明石健一

講演会参加者 市整会34名 同門会9名 非会員15名 合計58名

学術講演1「関節リウマチ患者における転倒・骨折のリスクマネジメント」

座長：西澤徹

演者 大阪市立総合医療センター 整形外科 医長 多田昌弘先生

病院紹介 石切生喜病院 河野浩先生

十三市民病院 田中亨先生

学術講演2「整形外科医に知ってほしい感染症～インフルエンザを中心に～」

座長：増田博

演者 地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪はびきの医療センター主任部長 橋本章司先生

H31.04.12（金）諮問委員会

H31.04.20（土）H30度後期理事会・市整会フォーラム（講演会のみ共催：久光製薬）

場所：ヴィアーレ大阪 3F『華の間』 17時～

出席者19名、委任状29通（理事58名）…理事会成立

学術講演「一般整形外科医のための骨軟部腫瘍と疼痛」座長：明石健一

4、H30年度会計報告（伊藤）

別紙資料 1 参照  
（会計監査報告）

5、70周年会計収支報告（宮内）

別紙資料 2 参照

6、その他の報告事項

1) 市整会の各種案内や会報などの送付方法について

現状ですと発送は各担当の責任でそれぞれが業者に頼んだり、自力で送ったりしています。

個人情報漏れた場合、例えばクリニック住所でなく個人の自宅に送付する時には個人の住所が漏れる場合があります。しかし漏洩した場合に、どこから漏洩したかがわかりにくく、もし製薬会社などの会社に依頼した場合に、そこから漏洩したと特定できたとして、どのように対処すべきかと言う問題点も有ります。そこで、我々の手で発送すべきとのご意見を頂きました。

その観点で、発送用の住所録、簡単にタグシートに印刷できるものをご検討したいのですが、個人情報の問題と発送の仕事量の問題になりますので、諮問委員会・理事会での協議したところ、仕事量の多さと問題対処方法の観点から今後の検討項目となりましたが、諮問委員会での協議をしたところ、これまで同様、業者に依頼することに決定した。（郵送料の負担を考えても、運営の観点からも）

又、広報（宮脇先生）より、これまではご自分で発送作業をして下さっていましたが、関西共同印刷に依頼する事となった。本総会においても、賛同が得られました。

2) HPのバックアップ体制について

HPの記事が無くなってしまい、今回で2度目の事であり、今後の対策について諮問委員会での協議をしてところ、現在のホームページ内に項目として

- ①ゴルフ部のお知らせ ②会員の近況方向&趣味の部屋 ③講演会のお知らせ
- ④家族会のお知らせ ⑤市整会 総会のご報告 ⑥市整会 年間行事予定表
- ⑦『70周年記念式典』の進捗状況 ⑧講演会参加の報告&感想 ⑨関連医療機関の医師の情報
- ⑩理事会のお知らせ ⑪症例検討ルーム

上記のコンテンツがあります。

この中で、永久保存版にしたいものと、一時期皆さんにお知らせすれば、それで無くなっても良いものに、分類し、簡易的入力以外の情報を業者さんに入力して頂く。（その、永久保存版とそれ以外の物の選別等の詳細は、会長と総務に任す事となった。）

また、思い出写真貯蔵庫等の容量のかかる写真などの情報は、30daysアルバム等を使って、アルバムのURLをホームページ上に貼り付けるようにし、簡単な記事と、代表的な写真を4枚までにして記事にし、本文の最後にアルバムのURLを貼り付ければ、かなりサーバーの負担が無くなるため、30Daysアルバムの契約をしました。尚、本総会においても、賛同が得られました。

3) 会費未納者の対応

4年連続の会費未納者は退会を促していくことと諮問委員・理事会・総会で検討し、承認されました。

(定款には明記しないで)

4) 70周年報告

70周年記念事業に寄付をいただいた市整会会員に、記念品の錫製タンブラーグラスとは別に、タイバー等を作成し2月末に郵送いたしました。

(なお、この製作費等は70周年記念事業の一環として実行委員会予算から出していただきました)

5) 新年会の会場・アトラクションについて、

年々、参加者が減っている事を危惧し、来年度の講演は中村教授に頼み、ご家族の皆様が参加される際に目新しい方が、参加数が増える事を願い来年度は、1月4週目(25日)リッツアーカールトンとなりました。

但し、会場の利用時間などに制限があり、タイトになるためバンドの音合わせなどの練習時間が、あまり取れないかもしれないことを了解して頂く事とした。

また、中村教授の奥様も参加を打診し、参加費も振り込みをして頂く様に検討致します。

6) 総会を含め学術講演会で座長に報酬を出すのは、協賛メーカーに頼むのも時代の流れに反している為、一律に座長報酬はナシで、諮問委員会・理事会で決定しました。

7) 10月の第6回これからの整形外科のかたちを考える会 より

1) 労務担当の従業員の方や奥様のご参加、若干名の同伴も可能ですのでお願い致します。

2) ご参加お1人当たり500円のお支払いをお願い致します。

8) その他の報告事項は有りませんでした。

## 協議事項

### 1、令和元年度事業計画 (森川)

R1.05.18 (土) 市整会 総会 講演会のみ共催：科研製薬

場所：ヴィアール大阪 『レガート』 16時～

学術講演1「脂肪由来幹細胞を用いた新たな関節リウマチ治療法の開発」

座長：小竹志郎

演者 大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学 大学院生 上山秀樹先生

学術講演2「最近の審査状況について」座長：宮内晃

演者 (医)有馬外科・整形外科 寺川文彦先生

R1.06.15 (土) 学術講演会 共催：旭化成 16時～

場所：スイスホテル南海大阪 8階 孔雀 総合司会：明石健一

学術講演1「発育期運動選手における腰痛のマネジメント」座長：長濱信一

演者 福島県立医科大学医学部 整形外科学講座助教 医局長 加藤欽志先生

学術講演2「コンタクトスポーツの安全性に対する意識改革」座長：豊川英樹

—ワールドカップ2019を控えたラグビーと他競技の比較—

演者 愛染橋病院 整形外科部長

日本・関西ラグビーフットボール協会安全対策委員  
大阪府ラグビーフットボール協会安全対策委員長 中村夫左央先生  
学術講演3「ロコモ関連、病診連携での骨粗鬆症治療・テリパラチドの使い方」

座長：西澤徹

演者 宮崎大学医学部整形外科 教授 帖佐悦男先生

R1.06.16 (日) スケルトンコンペ 天野山カントリークラブ

R1.07. 会誌発行

R1.08.30 (金) 諮問委員会 20時～ 場所:「こんび」

R1.09.07 (土) 令和元年度前期理事会・市整会フォーラム 講演会のみ共催：帝人ファーマ  
ホテルモントレ大阪(梅田)

R1.10.26 (土) 第6回これからの整形外科のかたちを考える会(共催：久光製薬)

場所：AP大阪駅前梅田一丁目 時間：16時～

学術講演1「未定」座長：未定

演者：未定

学術講演2「診療所の労務管理のピットフォール(仮題)」座長：馬野隆信

演者：社会保険労務士法人エルクエスト 特定社会保険労務士 仲田雄大先生

R1.11.16 (土) 市整会学術文化講演会 共催：日本臓器製薬

文化講演：「宇宙医学に学ぶロコモ予防(仮題)」

演者 JAXAの大島博先生に打診中

R1.11.17 (日) 市整会家族会 奈良方面

法隆寺観光と「奈良十三屋」での懐石料理。赤膚焼き絵付け体験。

R1.12.08 (日) 市整会ゴルフコンペ 泉ヶ丘CC

R2.1.25 (土) 市整会新年会

リッツカールトン 18時～ 中村博亮教授の講演

## 2、令和元年度予算案(伊藤)

別紙資料 1 参照

## 3、その他の協議事項

### 1) 定款の変更について(森川)

定款 第3章 第4条の所で、市大卒業生でなく他大学より入局されている先生方も多数おられ、同窓会と言う文言では、市大出身者だけのように感じて違和感を覚える為、同門会と言う文言に変更する。この案件は、諮問委員会・理事会・本総会においても、賛同が得られました。

以下、改定文

第3章 会員および会費



# 市整会 平成30年度収支決算書・令和元年度予算書

## 平成30年度収支計算書

自 平成30年4月1日  
至 平成31年3月31日

### 1. 収入の部

科目	平成30年度予算額	平成30年度決算額	増減
<b>第1款 会費収入</b>			
第1項 本会費	¥4,950,000	¥4,950,000	¥0
第2項 特別会費	¥0	¥0	¥0
小計	¥4,950,000	¥4,950,000	¥0
<b>第2款 雑収入</b>			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥2,000	¥67	¥-1,933
第2項 寄付金収入	¥0	¥0	¥0
第3項 その他の収入	¥400,000	¥1,115,000	¥715,000
小計	¥402,000	¥1,115,067	¥713,067
<b>当期収入合計</b>	<b>¥5,352,000</b>	<b>¥6,065,067</b>	<b>¥713,067</b>
繰越金	¥7,989,716	¥7,989,716	¥0
<b>合計</b>	<b>¥13,341,716</b>	<b>¥14,054,783</b>	<b>¥713,067</b>

### 2. 支出の部

科目	平成30年度予算額	平成30年度決算額	増減
<b>第1款 事務費</b>			
第1項 通信費	¥200,000	¥78,531	¥-121,469
第2項 事務用品費	¥20,000	¥1,042	¥-18,958
第3項 渉外費	¥100,000	¥0	¥-100,000
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥360,000	¥119,573	¥-240,427
<b>第2款 各部活動費</b>			
第1項 総務部	¥1,400,000	¥2,032,150	¥632,150
第2項 学術部	¥1,500,000	¥1,103,000	¥-397,000
第3項 福利厚生部	¥1,400,000	¥1,139,853	¥-260,147
第4項 広報部	¥400,000	¥412,560	¥12,560
第5項 税務部	¥30,000	¥0	¥-30,000
第6項 雑費	¥30,000	¥12,852	¥-17,148
第7項 学術積立金	¥400,000	¥400,000	¥0
第8項 50周年記念事業費積立金	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥6,160,000	¥6,100,415	¥-59,585
<b>第3款 慶弔費</b>	¥250,000	¥224,000	¥-26,000
<b>第4款 予備費</b>	¥6,571,716	¥388,800	¥-6,182,916
<b>当期支出合計</b>	<b>¥13,341,716</b>	<b>¥6,832,788</b>	<b>¥-6,508,928</b>
次期繰越金		¥7,221,995	
<b>合計</b>	<b>¥13,341,716</b>	<b>¥14,054,783</b>	<b>¥713,067</b>

# 内 訳

## 1. 収入の部

---

年会費収入	165/194名（閉院29名、未納5名、年度遅れ2名、次年度前払い3名） ¥30,000×(194-29-5+2+3) =	¥4,950,000
利息	医師信用組合 三井住友銀行 合計	¥51 ¥16 ¥67
その他の収入	学術講演会等参加費 新年会参加費 合計	¥815,000 ¥300,000 ¥1,115,000

---

## 2. 支出の部

---

事務費		
第1項 通信費	FAXネット・郵送等	¥78,531
第2項 事務用品費	香典袋・便箋	¥1,042
第4項 事務弁償費	総務 会計	¥20,000 ¥20,000

---

### 各部活動費

第1項 総務部	会議費 新年会会場費（ANAクラウンプラザホテル） 新年会アトラクション代 新年会2次会 ホームページ維持費（昨年度分を含む） ネームプレート代 封筒・名簿等印刷	¥211,721 ¥897,328 ¥250,000 ¥97,416 ¥413,760 ¥2,700 ¥159,225
第2項 学術部	大学医局出張費援助 文化講演（酒井祐一先生）	¥1,000,000 ¥103,000
第3項 福利厚生部	家族会 市整会ゴルフ	¥733,234 ¥406,619
第4項 広報部	会報印刷代等	¥412,560
第6項 雑費	振込手数料等	¥12,852

---

慶弔費	名誉会員表彰状代・花代・香典等	¥224,000
-----	-----------------	----------

予備費	45周年記念当日撮影費・記念誌電子データ作成費	¥388,800
-----	-------------------------	----------

---

# 令和元年度収支予算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

## 1. 収入の部

科目	平成30年度予算額	令和元年度予算額	増減
<b>第1款 会費収入</b>			
第1項 本会費	¥4,950,000	¥4,830,000	¥-120,000
第2項 特別会費	¥0	¥0	¥0
小計	¥4,950,000	¥4,830,000	¥-120,000
<b>第2款 雑収入</b>			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥2,000	¥100	¥-1,900
第2項 寄付金収入	¥0	¥0	¥0
第3項 その他の収入	¥400,000	¥900,000	¥500,000
小計	¥402,000	¥900,100	¥498,100
<b>当期収入合計</b>	<b>¥5,352,000</b>	<b>¥5,730,100</b>	<b>¥378,100</b>
前期繰越金	¥7,989,716	¥7,221,995	¥-767,721
<b>合計</b>	<b>¥13,341,716</b>	<b>¥12,952,095</b>	<b>¥-389,621</b>

## 2. 支出の部

科目	平成30年度予算額	令和元年度予算額	増減
<b>第1款 事務費</b>			
第1項 通信費	¥200,000	¥150,000	¥-50,000
第2項 事務用品費	¥20,000	¥10,000	¥-10,000
第3項 渉外費	¥100,000	¥100,000	¥0
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥360,000	¥300,000	¥-60,000
<b>第2款 各部活動費</b>			¥0
第1項 総務部	¥1,400,000	¥1,500,000	¥100,000
第2項 学術部	¥1,500,000	¥1,200,000	¥-300,000
第3項 福利厚生部	¥1,400,000	¥1,200,000	¥-200,000
第4項 広報部	¥400,000	¥400,000	¥0
第5項 税務部	¥30,000	¥10,000	¥-20,000
第6項 雑費	¥30,000	¥10,000	¥-20,000
第7項 学術積立金	¥400,000	¥400,000	¥0
第8項 50周年記念事業費積立金	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥6,160,000	¥5,720,000	¥-440,000
<b>第3款 慶弔費</b>	¥250,000	¥250,000	¥0
<b>第4款 予備費</b>	¥6,571,716	¥6,682,095	
<b>合計</b>	<b>¥13,341,716</b>	<b>¥12,952,095</b>	<b>¥-389,621</b>

## 市整会資産(平成31年3月31日現在)

	H30.3.31時点	入金	利息	H31.3.31現在	増減
医師信用組合普通	¥5,878,122		¥51	¥3,005,905	¥-2,872,217
学術基金(医師信スーパ一定期・2059738)	¥1,041,875		¥89	¥1,041,964	¥89
学術基金(医師信スーパ一定期・2059746)	¥1,162,373		¥99	¥1,162,472	¥99
<b>小計</b>	<b>¥8,082,370</b>			<b>¥5,210,341</b>	<b>¥-2,872,029</b>
三井住友銀行(市整会)	¥1,482,431		¥16	¥3,354,600	¥1,872,169
学術積立金	¥4,409,140	¥400,000	¥393	¥4,809,533	¥400,393
50周年積立金	¥0	¥1,000,000	¥42	¥1,000,042	¥1,000,042
事業基金(30、35、40周年残金)	¥4,064,656		¥344	¥4,065,000	¥344
<b>小計</b>	<b>¥11,154,822</b>			<b>¥13,248,598</b>	<b>¥2,093,776</b>
渉外準備金	¥12,676,883		¥1,074	¥12,677,957	¥1,074
<b>小計</b>	<b>¥12,676,883</b>			<b>¥12,677,957</b>	<b>¥1,074</b>
三井住友銀行(45周年記念)	¥1,198,595		¥14	¥19,423	¥-1,179,172
現金(45周年記念)	¥132,667			¥4,000	¥-128,667
<b>小計</b>	<b>¥1,331,262</b>			<b>¥23,423</b>	<b>¥-1,307,839</b>
現金(一般会計)	¥629,163			¥861,490	¥232,327
<b>合計</b>	<b>¥33,874,500</b>			<b>¥32,021,809</b>	<b>¥-1,852,691</b>
					(一般会計合計) <b>¥7,221,995</b>

## 45周年記念行事

### 1.収入の部

積立金(平成25年～平成29年)	¥5,000,000	
利息	¥1,252	
参加費	¥687,000	会員52名、家族38名(子供4名)
市整会一般会計(予備費)から	¥388,800	※
<b>収入合計</b>	<b>¥6,077,052</b>	

### 2.支出の部

会場費(ANAクラウンプラザホテル大阪)	¥2,584,471	
アトラクション出演料	¥300,000	
準備委員会・座談会費	¥315,546	
くじ景品代	¥238,422	
案内状印刷代・送料	¥176,713	
粗品代・送料(QUOカード)	¥635,001	
花束代	¥73,000	
カメラマン食事代	¥3,000	
その他送料	¥2,053	
記章代等	¥12,762	
記念品代(グラス)	¥570,240	
座談会撮影費、原稿作成費等	¥64,800	
記念冊子印刷代	¥566,190	
記念誌送料、案内文印刷等	¥115,719	
当日撮影費・記念誌電子データ作成費	¥388,800	※
雑費(振込手数料等)	¥6,912	
<b>支出合計(A)</b>	<b>¥6,053,629</b>	

<b>残金(B)</b>	<b>¥23,423</b>	三井住友 ¥19,423、現金 ¥4,000
--------------	----------------	------------------------

<b>合計(A+B)</b>	<b>¥6,077,052</b>	
----------------	-------------------	--

※ 平成30年10月30日に市整会の一般会計(三井住友銀行普通預金)から振込

## 会計監査報告書

平成 30 年度市整会（大阪市大整形外科開業医会）の  
歳入歳出につき、慎重監査いたしましたところ、適正  
に処理・管理されたことを認めます。

令和 元 年 5 月 11 日

監事

楢 憲一郎 

令和 元 年 5 月 14 日

監事

安田 浩成 

# 大阪市立大学整形外科医局70周年会計収支報告

## 収入の部

### 寄付金

10万×20人	200万	
20万×30人	600万	
30万×67人	2010万	
25万×1人	25万	
3万×1人	3万	
15万×2人	30万	
33万×10人	330万	
22万×5人	110万	小計3308万円

### 利息

1852円	
合計	33,081,852円

## 支出の部

### 会議費

59,910円 (27.78)	
34,800円 (27.25)	小計94,710円

### 振込手数料

864×3	2,592円	
756×2	1,512円	小計 4,104円

### 収入印紙代

200×2	400円	小計 400円
-------	------	---------

ハガキ、切手、郵送代、住所ラベルシール	
70,966円	

合計 170,180円

同門会会計に 32,911,672円振込



## 会計監査報告書

大阪市立大学整形外科医局開局 70 周年記念事業 寄付金の歳入歳出につき、慎重監査いたしましたところ、適正に処理・管理されたことを認めます。

平成 31 年 4 月 12 日

監事

安田 浩成



平成 31 年 4 月 20 日

監事

榎 憲一郎



# 家族会のお知らせ

## ～法隆寺観光と奈良懐石「奈良十三屋」での昼食～

日時：令和元年11月17日（日）

福利厚生担当 大川得太郎（昭和62年入局）

今回は、奈良の法隆寺観光です。聖徳太子ゆかりのお寺として有名であり、一度は訪れた方もおられると思います。私も小学生の遠足で来た記憶はありますが、全然内容は覚えておりませんでした。聖徳太子が、605年に飛鳥の地より移り、こちらに斑鳩宮を作って住まわれたのが始まりです。この斑鳩宮に接して建立されたのが斑鳩寺であり、後の法隆寺です。金堂、五重塔を中心とする西院伽藍は現存する世界最古の木造建築群です。平成5年には世界遺産にも登録されております。世界遺産になっただけあり、観光設備は充実しております。宝物殿も立派ですし、観光の最新設備が整っています。法隆寺はスマホによるAR\*アプリに対応しています。携帯でソフトをダウンロードして、各施設の2次元バーコードをスマホでスキャンすると解説が聞けます。スマホとイヤホンは必需品です。

昼食は信貴山のお膝元にある奈良懐石料理の老舗の「奈良十三屋」を選びました。創業90年もあり、また料理長は奈良県知事賞をはじめ数々の賞を受賞し、平成26年には奈良の名工にも選ばれております。70名のテーブル席が可能な大宴会場を予約しております。

今回も、体験コーナーとして、奈良が世界に誇る赤膚焼きの絵付け体験を選びました。赤膚山窯元で奈良の伝統工芸を身近に体験できるチャンスです。自分だけのオリジナル赤膚焼きを作ってください。

今年も十分に楽しんでいただけるよう予定致しますので、ぜひ参加をお願い致します。

なお、詳細は9月に入ってから、改めてご案内させていただきます。皆様どうぞご家族そろって、家族会を楽しんで下さい。

AR\*：Augmented Reality（拡張現実）、コンピューターが現実を拡張する手段として、視覚や聴覚、触覚など、人の全ての感覚器官と体性感覚に対する情報を提示する技術。



# 自己紹介

医療法人 涼庵会 整形外科吉田クリニック  
吉田 博一（平成24年入局）

この度、市整会に入会させていただきました吉田博一です。

約十年勤務医をしておりましたが、四年前より、父である吉田研二郎が院長を務めております整形外科吉田クリニックで勤務することとなりました。

当院では一般整形はもちろん膝関節を中心とした関節外科を専門としております。スタンダードの治療方針と時代に沿った治療を患者様の為にご提供出来るよう努めています。2019年3月より再生医療（PRP.APS）も開始致しました。

当院の特徴として、院内に小手術室（準クリーンルーム）を設け、主に膝関節の関節鏡検査および関節鏡視下手術を日帰りで行っております。

また、人工関節置換術等の入院を要する手術も関連病院に出張し執刀しております。

2017年からは術後の運動器リハビリテーションも開始し術後フォローにも力を入れています。

少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思いますので今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

医療法人 涼庵会 整形外科吉田クリニック

住所 大阪市阿倍野区阪南町2-20-16

電話 06-6627-5511 Fax 06-6627-0167



# 自己紹介

## 整形外科リハビリテーション科 うえほんまち駅前クリニック

南部 誠治（平成9年入局）

平成9年入局の南部誠治です。二十数年の勤務医生活を経て、この度平成31年4月15日に「整形外科リハビリテーション科うえほんまち駅前クリニック」を開設しました。当院は近鉄大阪上本町駅から徒歩3分のところにあるクリニックモールの2階にあり、開院してからまだ3カ月です。まだ患者さんも少ないため、毎日のんびりした診療を行っています。

入局して大学病院で研修した後、外傷を含めた一般整形外科の診療を行っていましたが、その後大阪府立身体障害者福祉センター附属病院に勤務してからはリハビリテーションにかかわることが多くなり、回復期リハビリテーション病棟や障がい者病棟で脳血管障害や脊損の患者さんの診療にも携わるようになりました。その時の経験を生か

して、当院では整形外科疾患だけでなく、様々な疾患に対してのリハビリテーションにも力を入れて行こうと考えています。整形外科、リハビリテーション科の専門医として地域の医療、福祉に貢献できるよう日々の診療に取り組んでいきたいと思っております。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

### 整形外科リハビリテーション科うえほんまち駅前クリニック

〒543-0031

大阪市天王寺区石ヶ辻町18-21

上六ときビル2F

URL：<http://uehonmachi-clinic.com>



# 追悼・頼 功 先生

## 頼 功 先生を偲んで

黒田 晃司（昭和46年入局）

頼功先生は昭和22年7月27日堺市で誕生、三国ヶ丘高校から和歌山医大に進学され、昭和47年同校を卒業、大阪市立大学で研修医からスタートされました。昭和49年に岡垣・越川・吉田先生と共に大阪市立大学医学部整形外科学教室に入局され、その後関連病院にて研鑽を積み整形外科専門医になりました。この間身障センター病院にて研修した数年間私と一緒に勤務しました。

一番初めの思い出深いエピソードは、私が昭和51年3月大学院を修了して初めて勤務した府立身体障害者センター病院でのことです。辞令をもらい坂井副院長、東整形外科部長に連れられて頼先生と共に参加した国際学会 The 5th Congress of the Weston Pacific Orthopaedic Association（第5回西太平洋整形外科学会議）でソウルを訪れました。学会場はAMBASSADOR HOTELで、Official BanquetはZimmer.USAがスポンサー、同ホテルの庭園で開かれました（写真1）。東先生が人工関節の演題を、廣橋先生が私の博士論文とも関連するペルテス病を発表されました。

当時韓国はまだ朝鮮戦争が終結しておらず、ソウルでは夜中の0時にサイレンが鳴ると戒厳令下外出禁止のため街中に憲兵だけしかいなくなる時代で、平和ボケして夜中でも出歩いていた私達は「本当に戦争は怖い」と実感しました。水曜日は「米なしday」と言われ、外国人も含め1日ホテルでもレストランでも米飯のメニューがなくなる日で朝から晩まで麺ばかり食べた思い出があります。忘れかけていた一日本でも戦後「米の配給」という時代を過ごしたこと一が思い出されました。ソウル一番の繁華街・明洞（ミョンドン）で坂井先生に韓国の名物料理・焼肉を食べさせていただきました。4人（東先生、黒田、頼先生）でかなりの焼き肉とビールを飲みましたが会計が

30万ウォン（約3万円）だったことを今でも憶えています。慶州大学医学部整形外科金教授が市大へ人工関節の手術の研修に来ていたご縁で慶州へバス旅行し、古都の寺を見物しました。その時韓国ローカルのご馳走の香料に驚きました。

次に思い出すのは昭和48年市大整形外科25周年記念行事として、小谷教授が海外から多数の教授を招聘し大阪での市大整形外科教室の記念行事・講演会終了後、この招聘した教授・夫人全員引き連れてfirst-classで、我々市大の教室員30人はeconomy-classで、亡くなった神原君が怖いと言って椅子にしがみつき飛行機に乗った時代でした。JOA学会・札幌に我々がチャーターした（してなかった？）JALに乗って、意気揚々と札幌に乗り込みました（写真2：小谷教授と客人達）。

この日本整形外科学会終了後、レンタカーで頼、岡垣、黒田で北海道一周旅行しました。この時代、我々研修医は教室員としては番外医？だったのでしょう。学会終了後1週間以上休み、意気軒昂に北海道を満喫しました。（写真3：大雪山、阿寒湖、右が頼先生、左が私。写真4：摩周湖、左が頼先生、右が私）

この頃の研修医は余裕のある時間を過ごしていたが（本当は今のように面倒見てもらえなかった）逆に花見や障害者キャンプに看護婦さん医局員小谷教授と参加したり花見の宴を開いた思い出もあります。この時代のことをご存知の会員は少数になったと思います。大学紛争の爪痕が大きく残っていた時代でしたが整形外科教室は小谷勉先生のおかげで、他の教室に比べれば被害が少なかったと思います。

その後頼先生は労災病院、馬場病院にご勤務の後1992年（平成4年）9月4日堺市北花田一私がかつて初めて開業しようと思ったところですが、当時ま

だ地下鉄が延長されていなかったのであびこ筋・大和川以南は一面畑ばかりで患者さんの少ない所でした—先生は建ったばかりの非常に家賃の高いビルで開業されました。同時に市整会の理事になり市整会の発展に寄与されました。

2003年南平克積先生が第5代市整会・会長に就任されたとき、私と頼先生、阪本邦雄先生3人が副会長に就任しました。その時近畿各地区の市整会会員のいる地域に家族を伴ってバスで訪れた思い出があります。その経験を生かして2010（平成

22年）第6代市整会・会長に就任されました。以降4年間会長として本会に多大なアイディア、エネルギーをもってご指導・ご貢献くださいました。

4年後鳴嶋先生が会長を引き継がれた後、ご病気であることが判り、その間何度か入院・治療されながら地域医療に貢献されました。しかし薬効なく5月24日ご逝去されました。安らかにお休みください。合掌



写真1



写真2

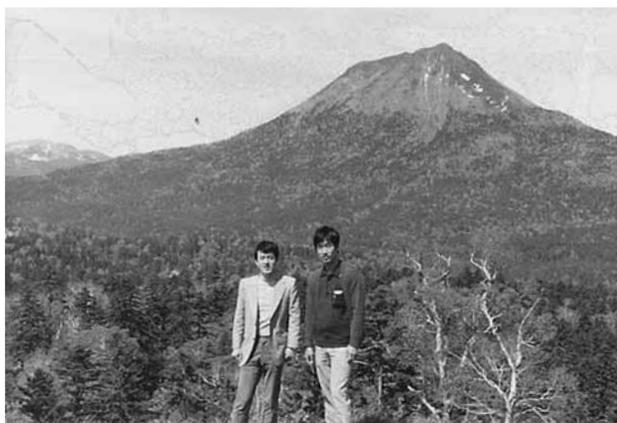


写真3

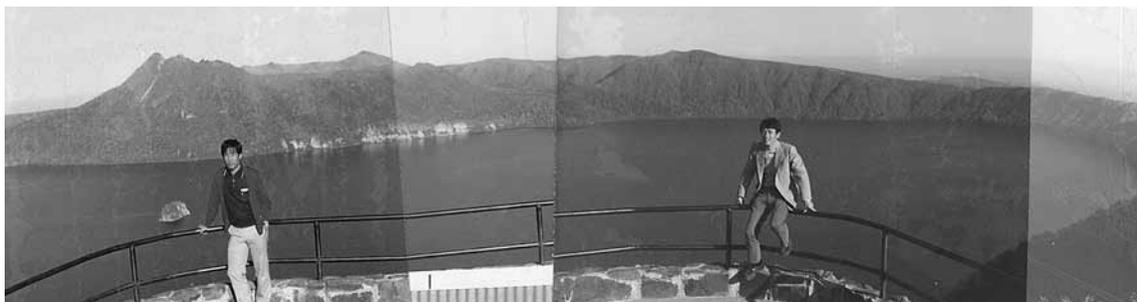


写真4

# 頼 功 先生との思い出

5月16日頼が逝ってしまいました。悲しくて寂しいです。

6年間の闘病生活、本当によく頑張ってくれていました。

弱音は殆ど聞いたことはありません。

一度だけ“もう疲れた”と言ったことがありますが、それでも治療は続けていました。

私と彼が初めて会ったのは研修医の時でした。

私たちの学年は、彼だけが他大学の出身でしたが、直ぐに馴染んでくれ特に私とは仲良くしてくれました。

当時の思い出は多すぎて何を話せば良いのか迷います。

キタ、ミナミ、神戸の飲み屋やジャズライブの店に殆ど毎週のように行っていました。

勤務先が変わって回数は減りましたが、何処かで会えば誰かも誘って一緒に飲みにいきました。

私が紀伊田辺に勤務している時も、彼はオフシ

## 岡垣健太郎（昭和47年入局）

ーズンに良く遊びに来てくれて温泉巡りなどして遊んでいました。

彼が開業する時にも、一緒にしようと何度も誘ってくれていまして、その内一緒に仕事できれば良いな、とずっと思っていました。

やっと一緒に仕事をしようと準備を始めていた矢先に彼の病気が見つかり信じられませんでした。

病気が分かってからも、仕事はできる範囲で頑張っていました。

診療が本当に好きだったのですね。

彼の診療所何時まで出来るかわかりませんし、頼のようには無理かもしれませんが何とか引き継いでいこうと思っています。

最後に頼が6年も闘病できたのは奥様の献身的な看護があったからだと思います。

# 頼先生の思い出

突然の訃報に驚いています。

残念です。

私と頼先生との出会いは、国立大阪病院でした。研修医として勤務した時に頼先生は大学からスタッフとして派遣され活躍されていました。非常に温和で優しく、先輩として憧れの存在でした。

特に、看護師さんに信頼が厚く、皆に好かれて羨ましいかぎりでした。手術も非常に丁寧でカンファレンスでもよく発言して、しっかり勉強している感じでした。

その後、一時期、国立大阪病院から出張という

## 楯 憲一郎（昭和52年入局）

形で、半年程堺の身障センターにお世話になったことがありましたが、その時も頼先生は坂井和夫院長の懐刀という感じで大事にされているようでした。主に、身障センターでは筋電図を中心にやられているようでした。

身障センターは短期間でしたが、とても居心地がよく、手術が終わったらワインが冷えていて、坂井院長がよく焼き肉を食べに連れて行ってくれました。

古き良き時代であったと思います。

その後、国立大阪病院での二年間の研修を終えて、親の希望もあり大阪医大で二年間ティーテル

アルバイトをしました。一時的に医局を離れたので、再就職が大変でしたが、幸い国立大阪病院で仲人をしていただいた、酒井純義先生が国立泉北病院におられるという事をお聞きしましたので、お願いして入れて頂きました。江口亨先生に沢山の手術を教えて頂き、どうにか一人前？の整形外科医になれたと思っています。

その時に頼先生は大阪労災病院におられ、何回か難治性症例を相談に行ったことがあります。適確なアドバイスを受け、心強い限りでした。

その後、馬場記念病院に移られてからも、私は開業していましたので、かなり沢山の手術適応の症例を紹介させていただきました。

頼先生との実質的なお付き合いは開業して市整会に入会してからです。

確か、私が開業10周年目位に先生が開業したいとのことで、当院を見学に来られ、老婆心ながら開業のノウハウをいろいろとアドバイスさせていただきました。

それから約20年近く市整会を中心に、学術・ゴルフ・家族旅行等、一緒にお供をさせていただきました。頼先生は非常におおらかな性格で私は時として見習うべき事が数多くあったと思います。医者として人間として、大変立派な尊敬できる先生であったと思います。

これから第二の人生を楽しもうという時に病魔に襲われ、非常に無念であったと思います。

心からご冥福をお祈り致します。

長い間ありがとうございました。

---

## 頼先生を偲んで

### 西上 茂樹（昭和54年入局）

頼先生が6年の闘病を終えられたことをお聞きして、残念で寂しい気持ちでいっぱいです。先生の在りし日を偲び、思いつくまま記したいと思います。

昭和61年、慣れ親しんだ府立身障センターから大阪労災病院へ転勤したのが頼 功先生との正式な出会いでした。当時の2人の部長土井先生、天野先生は阪大から来られていました。市大からの上司は頼先生と鍵山先生でした。私の先任が尾原先生であり、先生の後任として経験のない膝・スポーツ外来を担当することになり不安でいっぱいでしたが、和やかな医局のおかげで有意義な4年間を過ごすことができました。スポーツ外来と筋電図検査がメインでしたが、先生のご指導でTHAやHTOも数多く経験させていただきました。先生は私だけでなく研修医の教育もされ、その先生方も今では大学の教授や准教授、病院の院長や部長として活躍されています。

私的なことでは先生はゴルフやバスケットボール部で活躍されていました。ゴルフでは木曾駒や太平洋クラブへの遠征、オークモントなど楽しい

思い出がありますが、飛距離はもちろんスコアでも先生に勝てた記憶はほとんどありません。バスケットボールでは先生の体力と正確なプレイにはついていけませんでした。音楽にも造詣が深く、ジャズバーには何回かご一緒させていただきました。カラオケでは周りの期待に応えて十八番の「木綿のハンカチーフ」を唄われていたのが思い出されます。

私が労災を退職後も時々ご自宅にお伺いすることがありました。奥様が茶菓子や果物を用意してくださり、先生自らがコーヒー豆を挽いて出してくださいました。話題は旅行に行かれたお話しや診療所の経営、市整会のことでした。

先生が入院された際には医院に代診でお伺いしましたが、スタッフのきびきびした対応や患者さんの態度から普段の温和で優しい先生への信頼が感じられました。奥さまはもちろん、スタッフの皆様や患者さんは悲しく、さぞ無念であったことと思います。改めて先生のご冥福をお祈り申し上げます。

# 頼先生の事

## 市整会会長 天野 祐一（昭和57年入局）

平成から令和元年に時代が移った5月16日に市整会七代目会長、頼 功先生が遠行されました。今思いつくままに先生の思い出を綴っています。

福利厚生担当理事時代にはゴルフコンペを担当され、楯 憲一郎先生らと共にスケルトンゴルフコンペを企画立案、開催し市整会会員はもとより勤務医の先生方、大学病院の先生方との交流に心を砕かれておられました。

その後学術担当理事時代を経て2008年（平成20年）から2012年までの4年間市整会会長としてリーダーシップをとられました。

当時の仕事として斧出 安弘先生らの協力を得てメーリングリストの構築やIT委員会の結成、市整会ホームページの作成をされました。

特に阪本邦雄副会長（当時）とは名コンビであられ、学術講演会や理事会などのイベントの後には二次会のジャズのライブハウスによく誘っていただきました。

また、親戚筋の経営されている梅田堂山の中華料理店での理事会懇親会は会費度外視の料理をいつも楽しみにしておりました。ここでは確か国立大阪病院のOB会、大整会も開催されていたとお聞きしています。

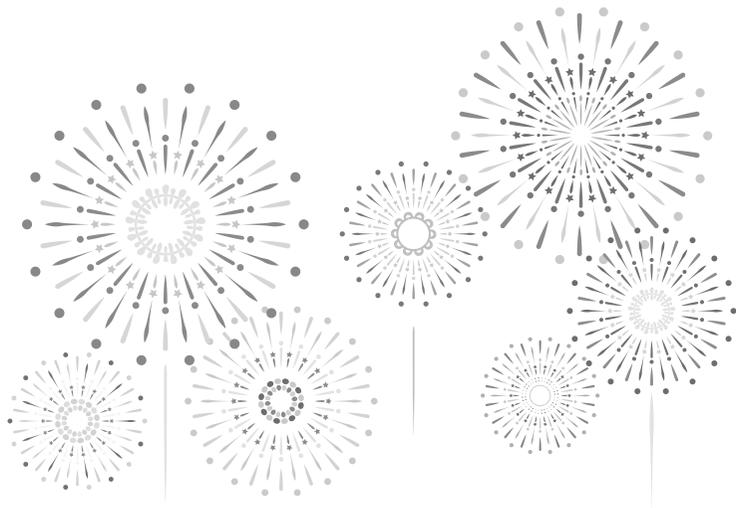
小生にとっても市整会の兄貴分のような存在でした。

真面目で優しく面倒見がよく、控えめで偉ぶらず、和を以て尊しとなす方でした。思い起こせば市整会の行事を大切にされる方でした。また大阪市大出身ではない初めての会長でもありました。

病を得られて久しいですが45周年記念式典にご出席がかなわず、記念誌に先生の顔写真はあつものの投稿文などは無く寂しい思いをしておりました。

いかにも早すぎる旅立ちに立ち尽くしております。

謹んでお悔やみを申し上げるしだいです。



# たにまち 4

阪本 博史（昭和59年入局）

5月場所は、朝乃山の初優勝で幕を閉じました。前号で朝乃山の活躍を予想した私としては満足な場所でした。一方、期待の新大関、貴景勝が怪我をしてしまい、来場所はいきなり「カド番」です。怪我をした取り組みを振り返ると、前に落ちた後、立ち上がって膝を二、三回曲げ伸ばしていました。軽いロッキングをおこしたのでしょうか。ということは、半月板損傷でしょうか？倒れ方からすると、側副靭帯も痛めていそうでした。休まし、再度出場した時も、膝に力がいらないようでした。膝を痛めている力士は後ろへ下がるときに殆ど、悪いほうの足を前にして、堪えます。名古屋場所でも膝に痛みが残っているようなら、切除手術でしょう。半月板が無い力士は山ほどいますが、すぐに慣れてしまうようです。このような半月板が無いまま相撲をとっていると、晩年、蹲踞のできないお相撲さんになってしまいます。安美錦がそうです。貴景勝もあの体で、膝に怪我を抱えていれば、「一気の押し」で勝てればいいですが、こらえられて、逆襲された時が脆くなってしまうでしょう。押し相撲の宿命です。

## 【朝乃山】

近大相撲部出身、大学選手権団体優勝メンバー。同じ近大出身の元「朝潮」が親方の高砂部屋に入門した、体格にも恵まれた有望力士です。大学相撲出身には、比較的多いのですが、最近には珍しい「四つ相撲」です。若手で、実力ある力士ですが、今回優勝できた最大の原因は、「番付編成会議による取り組み相手」に恵まれたのが第一だと思います。たいいてい平幕優勝するのは、前頭7、8枚目から10枚目くらいです。だいたい取り組みというのは、自分の地位から上下3枚くらいの力士どうしがあたります。東西あわせて14人、プラスアルファで15番です。したがって、朝乃山は前頭8枚目でしたので、上位は前頭5枚目くらいまでで、基本的には、小結、関脇、大関、横綱との取り組みはありません。おお勝ちして、勝ち越してしまうと、それ以降は、上位とどんどん

合わされます。このようにして、下位力士は優勝しにくいように番付は編成されます。前々日に二日後の取り組みが発表される仕組みです。

5月場所の「朝乃山」というと、西の前頭8枚目。対戦したのは、初日から順に、前頭8-9-7-9-10-6-6-5-7-13-13-2枚目、関脇、大関、小結の15人です。うち、負けたのは、阿武咲（前頭10枚目）玉鷲（前頭3枚目）御岳海（小結）。横綱にはあたらず、大関も3人中ひとりだけ、関脇・小結も4人中2人。と、取り組み相手にこれほど恵まれることは、めったに無いことです。横綱・大関が不振のなか、優勝しようになってきたので、最後の3日間で慌てて三役・大関をぶつけたのですが、勝ったのは「小結 御岳海」だけ。横綱・大関・関脇・小結の三役以上で、9人中二人しか取り組みを作れず、前頭中位の平幕に優勝させてしまったのですから、「番付け編成委員たち」の失態でしょう。でも確かに「朝乃山」は有望力士にはちがいがありません。

## 【トランプ大統領】

相撲協会では大贅寔です。マス席の改造、椅子（一脚50万円、4脚）スリッパ（一足12万円、2足）土俵に上がる階段など、優勝杯を提供していただいただけのスポンサーにしては、特別待遇すぎたのではないのでしょうか？他の優勝杯のプレゼンターは、いつもは土俵に上がる階段など使わず、スリッパも国技館備え付けのベージュ色のビニールスリッパです。この「アメリカ大統領杯」は恒久的なものではなく、トランプ氏の在任期間中のみかもしれないそうです。おかげで、この日は会場内での飲食は禁止され、座布団を投げた観客は、「以後入場禁止になる」との通達があったそうです。そんなに「座布団投げ」がいやなら、九州場所で見ればいいのに…なぜかという、九州場所では「座布団は飛ばない」からです。九電体育館（旧名）の座布団は、床、椅子にくくりつけられています。だから、投げたくても投げられない。

この原稿が載るころには、名古屋場所も終わっているとおもいます。誰が優勝しているか？貴景勝はカド番脱出できたか？白鵬の上腕二頭筋断裂は回復しているか？玉鷲、朝乃山が12番くらい勝って、大関取りに王手をかけているか？なかなか興味深い場所です。

(訂正：前回大関になりそうな力士の名前で、「阿炎」と書くところを「炎鵬」と書いてしまいました。炎鵬もトリッキーでおもしろい相撲をとりますが、あれではせいぜい前頭中位まででしょう。)



# 福岡大学医学部サッカー一部OB会

木下 裕介（平成7年入局）

今年5月に頼功先生、中村英健先生の訃報を聞きました。特に頼会長からは、理事に推薦されその他市整会のことなど色々と御指導を頂き大変お世話になった大先輩で悲しい限りです。頼先生、中村先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

令和元年6月8日（土）この日は3つの予定が入っていました。OCA特別研修会、松原市医師会会員旅行、そして福岡大学医学部サッカー一部OB会です。

この3つの予定ですが、すべて半年以上前から決まっていた、最も遅く決まったのがOB会でそれでも年末に連絡が入ってきました。この3つの中でOB会を選択し6月8日、9日と福岡に行ってきました。

OB会と言ってもサッカー部全OBに声をかけているわけではありません。僕が入部した時サッカー部の中心選手は3年生と4年生で主将は4年生（たぶん今も4年生）で5年生（病棟実習が始まる学年）になると引退しておりほとんど接することがありませんでした。実はこの時の多くの3年生が今までの流れを大きく変え6年生の西医体まで引退せずレギュラーでスタメンを張り続けました。当時はJリーグが始まる前で部員も少なく毎年部員は20名前後であったため、部員の大部分が出場選手登録されている状態で僕も2年生から6年生まで公式戦、練習試合で試合に出場していました。僕の3学年先輩から2学年後輩までの6年間でピッチに立ち共に戦ってきたメンバーに声をかけているOB会です。当日集まったのは8名（福岡4名、鹿児島2名、広島1名、大阪1名）で非常に盛り上がりました。ここでOB会の説明は終了です。

僕が、市整会に投稿しようと思ったのは、OB会で使った店舗の紹介をしたかったからです。OB会がいつ頃から始まったのかは知らないですが毎年この時期に行われており、今回で2回目の参加です。店の予約は福岡在住の先生のお勧めの店舗に任せています。前は「かつえ」（水炊

き・懐石）で行われました。福岡とえばもつ鍋のイメージがあります。もちろんもつ鍋も有名で美味しいのは間違い無いのですが、福岡では、もつ鍋には、学生が食べるお手軽な食べ物のイメージが強く、水炊きは大人が落ち着いて食べるイメージがあります。福岡の水炊きは店舗独自の出汁での水炊きで大阪のイメージとは少し違います。今年のお店は「鮪ほまれ」でした。その味も絶品でした。当然店名のようにお寿司がメインなのですが、最後でメのご飯として出てきます。それまでの料理も絶品です。値段が気になるところです。今回の鮪ほまれでは、コース料理とシャンパン、白ワイン各1本、ビール、日本酒、焼酎少々？で1人20000円弱でかなり良心的な値段です。

「隠れ家的」という修飾語がよく使われます。両店舗とも隠れ家的というか、知っていないとわからないです。あらかじめ店舗情報ももらっていたのですが、お店の前で店舗の入り口を開けるのに非常に勇気が要りました。2店とも福岡市中央区 薬院駅近くに有り、食べログには詳しく載っています。

地元の人でもあまり知られていない名店です。福岡に行く機会のある先生、是非立ち寄り下さい（要予約）。メはやはり豚骨です。一昔前なら屋台なのでしょうが今はほとんど店舗でメています。場所も店名も一切記憶にありません。ただ替え玉したことだけは記憶にあります。

久しぶりに福岡（博多）の夜を堪能しました。チャンスがあればまた行きたいと思えます。



# 労働なんかしないで光合成だけで生きたい スガシカオ

鱧永 浩 (平成7年入局)

スガシカオのご紹介は2回になります。本名  
スガシカオ 管 止戈男 年齢 52歳。

SMAPの夜空ノムコウの作詞、NHKのプロフェッショナル仕事の流儀(6月25日には、徳島大学整形外科教授の西良浩一先生が主役で出演されておりました)の主題歌、Progress で知られています。

16年前、臨床経験の浅かった私に脊椎外科を鍛えていただくため、当時の高岡邦夫教授から、北海道のえにわ病院へ、年明けの1月から国内留学をするようにとのご指導をいただきました。大変ありがたいお話で、その前の12月、年末に、えにわ病院の忘年会に、自己紹介を兼ねて、参加をしてくるよう命ぜられました。

北へ向かう機内で、スガシカオが自曲を紹介しながら、聴かせる番組があり、ここで聴いた音楽が、冬空でよく揺れていたせいかもしれません、私の心に響きました。夜空…を作った人であることも初めて知りました。

忘年会では会場のホテルのステージに上がるようにすすめられ、職員全員の前で自己紹介をすませて、ほっとしていましたが、まあ挨拶がわりに歌でもと、いきなり、大阪で生まれた女を歌ってとのことで、カラオケが流れ出しました。うまく歌えず、がっくりとききました。後日、歌をはずして帰ったので、えにわにもう来てくれないかと思ったと、散々いじられました。

話はそれましたが、北海道では車移動がメインでありますため、車のCDチェンジャーには(今はないですよ)、スガシカオのCDを入れっぱなしで、何度も何度も聴いていました。

スガシカオの音楽ジャンルですが、JPOPに入られてはおりますが、ファンクというジャンルのブラックミュージックを日本語で歌っています。

ファンクとは、リズムに重点を置いた16ビートが基本で、曲構成は1拍目を強調した16ビートのリズムとフレーズの反復を多用したものになっています。

リズム、ビートは重要な要素で、ベースライン

ヤリズムギター、サクソ、トランペット、トーンボーンなどの金管楽器など様々な楽器によって強調されます。

なんかわかりにくいですね。例えば、ジェームス・ブラウン、アース・ウインド&ファイヤー、クール・アンド・ザ・ギャング、プリンス、ステイビー・ワンダー、日本人では、久保田利伸、クレージーケンバンドなどが、ファンクに分類されますが、イメージできましたでしょうか。

今回ご紹介するのは、4月発売の新譜、「労働なんかしないで光合成だけで生きたい」です。

アルバムのタイトルにもなった、この曲ですが、労働なんか、というのは、労働に生活の多くの時間を捧げている人の言葉であり、光合成だけで生きたいというのは、でも現実には働かなければ生きては行けないだろうという、現状の認識が明確に含まれているそうです。決してニートを支援する曲ではございません。



1. 労働なんかしないで 光合成だけで生きたい
2. 遠い夜明け
3. あんなこと、男の人みんなしたりするの？
4. am 5:00
5. おれだってギター1本抱えて 田舎から上京したかった
6. ドキュメント2019 feat.Mummy-D
7. スターマイン
8. 黄昏ギター
9. マッシュポテト&ハッシュポテト
10. 深夜、国道沿いにて

# 近くの山とアフターを楽しむ会

## 2018レポート

天野 祐一（昭和57年入局）

一回冬の会報をとばしてしまいましたが、昨年12月16日に丹波篠山の北側の多紀連山にプチ登山をして隠れ家的炉端料理の『岩屋』にて猪鍋を堪能してまいりました。東おたふく山から六甲山有馬温泉ハイキング、武田尾廃線ツアー、摩耶山からトゥエンティクロスハイキングに続いての4回目です。

今回は知る人ぞ知る藁葺きの古民家『岩屋』での猪鍋ありきの企画ですので、カラフルなウェアの山ガールなどは無縁の、ひたすら地味な本格的登山（コースの一部）です。最近の日帰り山歩きガイドブックには絶対に載っていません。調べていくと修験道の道場があったようで、南の大峰山か北の多紀連山かと言う時代もあったようです。ある時に修験道者どうしの争いでこちらは滅ぼされてしまったとあります。現在も5月の山開きは丹波大峰会員が山伏姿で法螺の音と共に盛大に行われるそうです。でも地元のタクシー運転手は全然知らないようでした。

丹波篠山はのどかな町で、近年少しずつ観光客も増えていますが、名物が黒大豆と猪鍋ですからそれほどの混雑もありません。地元の人によると一年に3回だけ混雑するとの事、8月のデカンショ祭、3月の篠山マラソン大会（なんと開催39回）と10月上旬の丹波篠山味祭りです。この時には大手通りから篠山城まで人がいっぱい出店も出て大変な賑わいになります。

さて、紅葉の登山好適シーズンをかなり過ぎた平成30年12月16日、昨年に続いて集まりました中年というより初老のオヤジ7人衆。

バンテージ秋野、放浪坂本、当日二日酔い奥田、登山は口だけ天野、大阪城の堀でトライアスリロン高山、ガッチリ金井、ダンディー辰巳。  
（敬称略）

JR大阪駅発9時21分の丹波路快速にて丹波篠山駅へ向かいました。一年ぶりに会う先生もあり、久闊を叙しつつブリーフィングを行いました。

た。ベテランメンバーから「今回のコースはちとキビシイで」、との指摘あり。それでも10時半に篠山駅に到着し、ここから待っていたバスに乗って20分で篠山市街へ。街の中心、二階町あたりにはお土産屋さん、鳳鳴酒造の酒蔵、食堂、黒豆のパン屋さん、この頃出来たカフェ等がバス通り沿いに立ち並んでいます。これもあと10年もすれば嵐山のようにになってしまうのでしょうか。

今回は市内観光無しでタクシーに分乗し6kmほど離れた多紀連山のとりつきの『おたわ』駐車場へ向かいました。ここからクライムオンです。早速東へ急坂を登って行くと、冬場は閉ざされているフィールドアスレチック施設がありました。いつもは11月上旬のいい季節に企画するのですが諸々の事情で12月半ばになってしまいました。タクシーでは、昨日の夜は雪降ってたデ、とか脅されましたが、確かに雪が積もっています。30分も行くと修験道の山だったというのが良く分かる風景になりました。二日酔い奥田先生は来なきゃ良かったと思ったはず。ガレ場あり、岩山あり鎖場も出現しました。絶景を楽しむどころではなく声を掛けあってクリアしてゆきました。もちろんマシラの高山先生が上を下への大活躍であったのは言うまでもありません。途中で出会った登山者は1パーティ4人だけ、前日は六甲山に行って来たとの事でしたがこちらの方が余程楽しいと言っていました。ロープや鎖につかまっただけの難コースでしたが、それでも1時間20分で目標の小金ガ嶽726mのピークに到着しました。（写真1）西側を望むと多紀連山のもう一つのピーク、三嶽（みたけ）793mがそそり立っています。

ここから南へ下るわけですが、この下りが難しいとガイドブックにあり、途中で迷いやすいとあった通り一部迷いました。東へ行きますと能勢の北側で国道176号線から入る笹見四十八滝に通じています。

ここは淀川キリスト教病院勤務医時代、アウト

ドアのイロハもわからない頃金井先生、辰巳先生と迷い込んだところでした。この2人は笹見と聞くだけで悪夢を思い出すようです。

さああとは下りだけっていうのが前回と同じですが、この年は例の台風の被害で倒木あり、土砂崩れありで前日の雪で登山道や岩がぬれており、踏ん張りがきかなくなった下半身には苦行で、またもや黙々と下る羽目になりました。しかし下った所が目的の『岩屋』ですので自ずとペースも上がります。2時半に予約をしており1時間程度は余裕を見ていたはずでしたが到着はピッタリ2時半。今回も怪我無く何とか乗り切りました。

さて、この『岩屋』ですが11月からは狩猟のシーズンと言う事で冷凍していない猪肉を出すのが有名です。この1ヶ月前に下見に来た時は松茸のシーズンで松茸と丹波牛のすき焼き（エエお値段でした）をいただきました。もちろん地元で採れた大きくて立派な松茸で、あんなに美味しい味のしっかりした松茸は久しぶりでした。

この季節はこの猪鍋を求めて予約が殺到し冬場は1～2ヶ月前に予約が埋まるということです。大きな藁葺き屋根の田舎家の広い板の間に4人か

ら8人用の囲炉裏がいくつも並んでおり、入れ込みでどんどん予約のお客さんが入ってきます。

さあまずはビールで乾杯、鳳鳴などの地酒も充実しています。御姐さんたちがキビキビと立ち働きます。メインの猪鍋は篠山独特の味噌仕立てで、これまた地元の丸い山芋の厚切りと一緒に煮ていきます。猪は煮込めば煮込むほどに柔らかくなる、とは金井先生の弁。またサイドメニューのアマゴの塩焼きの大きくて旨かった事。（写真2）日常生活の些末な出来事など全て忘れて笑ってられる至福の時です。

またまた鯨飲馬食ののち車を呼んでもらって篠山口駅へ、帰りは特急こうのとりに乗って、あつと言う間に大阪へ到着。今回は移動時間があった為2次会が無かったのが残念でした。既に師走も半ば、過ぎ行く歳を惜しみつつ我が体力の限界を確認する忘年山歩きになりました。

今回は大峰山洞川ミタライ溪谷か、葛城山から金剛山ダイヤモンドトレールか、原点復帰で芦屋川駅から六甲山メインルートか、今から作戦が楽しみです。



写真1



写真2

# 北イタリア湖水地方をめぐる

宮脇 裕二（昭和55年入局）

今回は北イタリアの湖水地方を巡る旅についてお話ししたいと思います。北イタリアにはスイスとの国境に沿って3つの湖が点在します。どの湖も美しく上品な色合いを醸し出します。北イタリアには3つの湖コモ湖、マジョーレ湖、ルガーノ湖があります。これらの湖畔には小さな街が連なっています。これらの街は都会の喧騒を離れた高級リゾート地として有名です。最近ミラノの夏は暑く、気温が40度くらいになる事が多々あります。湖畔の街はミラノよりは涼しいですが、それでも結構暑く、街の散策は朝と夕方にして、昼間は遊覧船で湖巡りか、ケーブルカーで山に登るのが得策でしょう。

まず、最も有名なコモ湖ですが、長さ46キロ、最大幅が4.3キロの大きな湖でミラノからは中央駅もしくはカルドナ駅から電車で30分ほどで着きます。コモ湖はイタリアの君主たちやヨーロッパの王族、大富豪などによって愛され続けてきた気品のある観光地です。湖の観光は遊覧船に乗って湖の中を走るか山頂にケーブルカーで登って上から湖を見下ろすかどちらかを選択する必要があります。もちろん時間があれば両方するのがベストです。コモ湖では時間の関係上山頂から見下ろすコースを選びました。ケーブルカー、イタリア語でフニクルス、funicolare、に乗って山頂まで上がります。湖畔で食べるランチもいいですが、山頂から湖を見下ろしながらランチをいただくのはもっと格別です。写真1は山頂から見たコモ湖です。今回はケーブルカーの終点の駅から、さらにジープで20分山頂に上ったところのレストランでランチをいただきました（写真2）。料理はイタリアンですが、ベネチアのような海鮮のものではなく湖でとれた魚がメインとなります。黒い米を使ったリゾットも絶品で、景色良し、味よしと街中のレストランに行くよりおすすめです。コモのお土産としては、コモシルクが有名です。エルメスやグッチのシルクも生地はこのものと聞きますよ。

次はルガーノ湖です。この湖はスイス南部のテ

ィチーノ州にあります。その湖畔の街ルガーノは、スイスの中のイタリア語圏最大の都市になります（写真3）。またスイス第3の金融経済都市でありながら、スイスとしては比較的温暖な気候ではあるのでリゾート地として有名です。ミラノのマルペンサ空港から鉄道やバスで容易にアクセスできます。驚くことに、街並みがゴミひとつないきれいなもので（写真4）、時計やブランド物を扱う高級ショップが多く立ち並んでいて、ベントレーのタクシーまでも走っていました（写真5）。治安もイタリアに比べ数段良好で安心して街歩きができます。スイス料理は2日で飽きてしまいますが、この街はイタリア料理がメインとなっていて、ワインも地元のティチーノ物が有名で、これは日本でいただくのは困難です。レストランやデパートでもトスカナワインより高値となっていました。そのせいか、ルガーノは食事よりワインの方がおいしかった印象が強いです。それから重要なのは、ルガーノのホテルに宿泊するとその宿泊期間中のティチーノ州の公共交通機関、鉄道やバス、が無料になり、湖の遊覧船やケーブルカーが割引となるティチーノチケットが貰えます。このことはガイドブックにはほとんど書かれていませんが、物価高のスイスでは非常に助かります。スイスでちょっとタクシーに乗れば3000円以上はします。

湖もいいですが、ルガーノから少し足を伸ばしてヴェルザスカ渓谷もなかなかのもです。この渓谷には透明度の高い川が流れており、そのエメラルドグリーンの清流、本当に綺麗なエメラルドグリーンです、に架かるラヴェルテツオの眼鏡橋（写真6）と素敵なハーモニーを奏でる感じます。橋の上から飛び込む動画がYouTubeで公開されて一気に有名になってしまいました。そのほか世界遺産、ペリンツォーナの城塞都市もなかなか見ごたえがあります。

最後にイタリアで二番目に広いマジョーレ湖です。長さは68キロ、幅3～5キロの細長い形をしていて、中にいくつかの島が点在します。今回は

時間の関係でスイスのロカルノから眺めるだけで終わってしまいました。あいにく霧がかかっていたので本来の美しさは分からずに終わってしまいました（写真7）。

このようなあまり知られていない、イタリアやスイスの地方都市を旅するのなかなかいいものです。



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6



写真7



---

## 編集後記

令和になって初めての市整会会報の発行となります。広報といたしましては、今後とも会報の発展に努めていきたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻よろしくお願いいたします。

さて、G20が大阪で執り行われ、ちょうど会報の編集時期と重なってしまいました。編集会議も警察の厳戒態勢下のリッツホテル近くで開催しましたが、幸い、誰も職務質問を受けることなく、順調に会議を進めることができました。

今回は西澤副会長に初めてのすばらしい巻頭言を書いていただきましたし、新たに入会された、

吉田、南部両先生の自己紹介もいただいております。ただ残念なのは市整会会長を務められた頼先生が亡くなられたことで、小生も大阪労災病院時代、公私ともに大変お世話になりました。今回の会報で追悼という意味で、多くの先生からご投稿を頂戴し、それらを天国の頼先生に読んでいただければいいなど、企画いたしました。

市整会会報を今後ともよろしくお願いいたします。

広報 宮脇裕二